



働くものの労働安全衛生学校に参加 2019年春闘で重視すべき課題を学習！

関東地方で大雪が心配された2月9日(土)に、神奈川民主医療機関連合会(神奈川民医連)と、働くもののいのちと健康を守る神奈川センター(いの健神奈川センター)、神奈川県労働組合総連合(神奈川労連)の3者が主催して“働くものの労働安全衛生学校”(労安学校)を横浜駅西口からほど近いところにある神奈川民医連の会議室で開催し23名が集いました。

参加者は医療・福祉・保育・教育・運輸・港湾・公務など多様な分野の労働・民主団体が構成され、建交労からは神奈川県南支部の赤羽特別執行委員が参加しました。

労安学校は、いの健神奈川センターの鈴木事務局長の司会・進行ではじまり、神奈川労連の山田事務局長は開会挨拶で「労働者のいのちと健康を脅かす安倍政権の“働き方改革”に対し働くもののいのちと健康を守る攻勢的な春闘」を呼びかけました。

この日の学習の中心は、公益財団法人：社会医学研究センター(労働者の健康問題を研究する機関)理事、労働総研常任理事、いの健全国センター理事、労教協常任理事など幅広い分野で活躍されている佐々木昭三さんによる“労働安全衛生活動の基礎を学び、職場で活かそう”と題した講演です。佐々木さんは「健康で安全に働く権利は、憲法第13条、25条、27条、28条などが保障する労働者の権利であり労働者の人間らしい労働と生活は、憲法にもとづく労働基準法や労働安全衛生法を遵守させることで実現できる」と、具体例も示して職場での労働安全衛生活動の重要性を分かりやすく熱心に解き明かしました。



労働安全衛生活動の重要性を解く佐々木昭三講師



進行役を務めるいの健Cの鈴木事務局長

また、安倍政権が強行した悪法“働き方改革法”のなかでも労働時間の上限規制や年間5日間の有給休暇取得(付与)の義務化などは、たたかひの成果として春闘をつうじて遵守させることを呼びかけました。

佐々木さんの講演後は、各分野から労働安全衛生の具体的なとりくみや現場の実態が報告され、建交労からはトラック産業の現状と課題について発言しました。

学校は窓から雪が舞い散る光景が見えてきた頃に丁度閉会の時刻を迎えました。

※推進ニュースNo.⑩で神奈川県本部委員会に、神奈川県南支部から12名が出席と記載しましたがイワサワ分会の出席者1名の記載漏れがありました。お詫びして訂正いたします。

建交労神奈川県南支部19春闘アンケート&署名などの到達点

2019年2月7日時点

組織名 署名種類	内外 液輸	福岡 運輸	田中 製菓	イワ サワ	中日 臨海	高橋 運輸	扶桑 運輸	三昭 運輸	ギオ ン	東進 産業	日酸 運輸	三浦 光バ	合同 分会	県南 支部	地方 地域 部会 他	合計	集計日
核兵器廃絶を 求める署名	29	5	61	3		16	12	40	8	10			33	54	5	276	1月5日
	29	5	81	3		16	12	40	8	10			33	54	5	296	2月7日
9条改憲NO! 3000万署名	20		5	5	10	28	11	30	5				45	22		181	1月5日
	20		15	5	10	28	11	30	5				45	22		191	2月7日
三昭運輸分会 団体署名	2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2	1	107	134	1月5日
	2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2	1	125	152	2月7日
三昭運輸分会 個人署名	40	2	5	15	14	7	20	55	10	7			7		1268	1435	1月5日
	40	2	5	15	14	7	20	55	10	7			7		1268	1435	1月5日
トラック団体署名	1		1			1		1					2	1		7	2月7日
	20		14		5	12	5	20	6				5	15	20	122	2月7日
19春闘トラックアンケート	9			17		2	7	11	1	7	10					64	2月7日
19春闘一般アンケート			19				1	1								21	2月7日
酸素部会アンケート				10			4			7	10					31	2月7日
生公連署名	4			1		8	3	5	5				10			31	2月7日
ダンゾ部会署名	9			1		8	3	5	5				10			36	2月7日
建設アスベスト総理宛署名	4			1		8	3	5	5				5			26	2月7日
建設アスベスト最高裁宛署名	4			1		7	3	5	5				5			25	2月7日

※田中製菓分会が核廃絶署名10筆を集約しました。

※年金者組合神奈川県本部旭支部から三昭運輸の団体署名1通が送られてきました。